

小山市長 令和5年12月 定例記者会見

日時：令和5年12月8日（金）

14：30～

会場：6階 大会議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 市長発表内容

- (1) 市制施行70周年記念式典及び各種記念事業の実施について
- (2) 「(仮称) おくやみコーナー」の開設について

4 部長発表内容

- (1) 令和5年度弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について
- (2) 令和8年度開設予定の間々田地区新設保育所について
- (3) 令和6年新年賀詞交歓会の開催について
- (4) PLAN OYAMA 推進組織（P.O.P.）との連携協定の締結について

5 副市長から取材依頼

6 質疑応答

7 閉会

記者会見資料

総務部 行政総務課
(担当 金澤 22-9311)

1 件名

市制施行70周年記念式典及び各種記念事業の実施について

2 要旨

本市は、昭和29年3月31日に「小山市」としてスタートし、令和6年3月31日に市制施行70周年を迎えます。この記念すべき節目となる令和6年の1年を、歴史と伝統を紡ぎ、市勢発展のため、これまでご尽力をいただいていた先人たちの功績を称えるとともに、さまざまな事業、イベントを通じて、市民の皆さまと盛大にお祝いをし、本市の魅力をあらためて認識する契機としてまいります。

3 主な内容

(1) 市制70周年記念式典

日程 令和6年10月27日(日)
会場 小山市立文化センター 大ホール

(2) 市制70周年記念事業【別紙1】・冠事業【別紙2】

市制70周年を機に記念する事業や冠を付けた事業を実施いたします。

(3) 市制70周年記念ロゴマーク

市制70周年を広く周知するため、庁内からアイデアを募集し、市制70周年記念事業検討委員会での選考により、【別紙3】のとおり決定しました。「広報おやま」の表紙をはじめ、チラシ等で広く活用していきます。

(4) 市制70周年の周知について

- ① 周知看板 庁舎前懸垂幕塔、小山駅中央自由通路さくら道吊り看板、小山駅西口ロータリー植栽内縦看板（「祝 小山市制施行70周年」）を設置するほか、庁舎内デジタルサイネージ等で周知します。
- ② 記念ロゴマークの活用
 - ・ 記念ロゴマークシールを公共施設入口ドアに貼付
 - ・ 公用車・おーバスに掲示
 - ・ 市封筒へ記念ロゴマークスタンプ押印
 - ・ 記念ロゴマーク木製バッジの職員着用

※別紙資料あり

市制70周年記念事業

No.	開催日	事業名	担当課
1	3月～4月(予定)	「小さな自慢が山ほどあります 小山のココがすごい！」展示	中央図書館
2	4月20日(土)～6月2日(日)	第59回企画展「田園抄(仮)」	車屋美術館
3	4月20日(土)～6月16日(日)	第80回企画展「小山市立博物館 秘蔵コレクション展(仮題)」	博物館
4	4月～7月(予定)	城山公園リニューアルオープン	まちづくり推進課
5	6月～9月(予定)	生涯学習センター30周年記念事業(仮) 生涯学習センターArtWeek Vol.2	生涯学習課
6	7月13日(土)～9月1日(日)	第60回企画展「小山市所蔵作品選～齊藤鷗舟とその時代～(仮)」	車屋美術館
7	7月～12月(予定)	「30年後の小山市を描こう」絵画コンクール	田園環境都市推進課
8	7月～12月(予定)	おやまマイクラフトコンテスト(第4回 小山市景観賞「マイクラフト部門」)	都市計画課
9	9月28日(土)	自衛隊音楽演奏会	市民課
10	10月	市制施行70周年記念誌発行事業	総合政策課
11	10月(予定)	(仮称)田園環境都市おやまゼロカーボン &ネイチャーポジティブMIRAIフェス	総合政策部
12	10月27日(日)～	文書館企画展	文書館
13	10月27日(日)～	「おやまの道の移り変わり・昭和～令和」	道路課
14	11月9日(土)・10日(日)(予定)	農業・工業・商業フェスティバル小山70	農政課
15	11月～12月	第61回企画展「五月女家三世代展～うけつがれる画家のまなざし(仮)」	車屋美術館
16	10月～11月(予定)	小山市出身の音楽家が会する音楽フェスティバル	文化振興課
17	12月(予定)	市民オペラ「小山物語」	文化振興課
18	未定	小山市におけるこれからの少子化対策と健康なまちづくりを考えるシンポジウム	健康増進課

市制70周年 冠事業

定期的・定例的に実施する事業で「小山市制70周年」と付すもの

No.	開催日	事業名	担当課
1	1月4日(水)	2024年 ニューイヤーロビーコンサート	行政総務課
2	2月(予定)	令和5年度公民館まつり	生涯学習課
3	2月3日(土)	令和5年度小山市スポーツ少年団 リレーマラソン	生涯スポーツ課
4	2月24日(土)	令和5年度公益財団法人小山市スポー ツ協会スポーツ顕彰授与式	生涯スポーツ課
5	3月9日(土)	認知症を知る講演会	高齢生きがい課
6	4月(予定)	第4回まり・びわ古墳花まつり	文化振興課
7	5月上旬(予定)	親子ロゲイニング	生涯スポーツ課
8	5月～6月 10月～11月	おやま健康ウォーク	健康増進課
9	5月～7月(予定)	小山市民デー無料観戦(栃木ゴールデ ンブレイブス)	生涯スポーツ課
10	5月～7月(予定)	小山市民デー無料観戦(栃木SC)	生涯スポーツ課
11	5月上旬～ 7月下旬	令和6年度小山市消防団夏季訓練	消防総務課
12	6月29日(土) (予定)	第21回小山市男女共同参画フェア	人権・男女共同参 画課
13	7月下旬(予定)	おやまサマーフェスティバル2024	商業観光課
14	平和展:7月下旬 ～8月上旬 出張平和展:8月	2024年平和展及び出張平和展	行政総務課
15	8月3日(土)	第21回おやま思川アユまつり	まちづくり推進課
16	8月20日(火)	第45回人権講演会	生涯学習課
17	8月(予定)	令和6年度小山市スポーツ少年団 スポーツ交流会	生涯スポーツ課
18	8月・9月(予定)	令和6年度地域支え合いフォーラム	高齢生きがい課
19	9月上旬	令和6年度小山市水防訓練	危機管理課
20	9月上旬	救急フェア2024	消防署

No.	開催日	事業名	担当課
21	9月中旬	令和6年度思桜会大会	高齢生きがい課
22	9月28日(土)～ 11月24日(日)	第81回企画展「江戸時代の本と読書 (仮題)」	博物館
23	10月(予定)	第38回健康都市おやまフェスティバル	健康増進課
24	10月(予定)	第17回寺野東遺跡縄文まつり	文化振興課
25	10月20日(日)	第20回 ハンドベルフェスタ in OYAMA	文化振興課
26	10月下旬	消防フェア2024	消防署
27	11月(予定)	第12回小山市フォークダンスフェス ティバル	生涯スポーツ課
28	11月上旬	第40回防火ポスター展	予防課
29	11月上旬	第12回小山市幼年消防クラブ連合会 フェスティバル	予防課
30	11月上旬	小山市火災予防フェア	予防課
31	11月16日(土)	第19回小山市青少年健全育成大会	生涯学習課
32	11月下旬	令和6年度小山市消防団通常点検	消防総務課
33	11月2日(土)	第32回小山市文化振興大会	文化振興課
34	11月2日(土)～ 12月1日(日)	第69回小山市民文化祭	文化振興課
35	12月(予定)	第12回おーバス絵画コンテスト	都市計画課
36	未定	(仮称)競技指導者講演会	生涯スポーツ課
37	未定	第61回小山市総合競技選手権大会	生涯スポーツ課
38	未定	OYAMAレクリエーションDAY	生涯スポーツ課

小山市制70周年記念ロゴマーク

■デザイン制作者

小山東出張所 総務係長 若松 健（わかまつ たけし）

■デザインの意図

本市は今年10月にゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言をし、自然環境の保全に向けた取り組みを推進しており、持続可能な田園環境都市を目指す小山市を表現するため、全体的に緑をベースにしてデザイン化しました。

「Oyama city」の文字には、空に羽ばたくコウノトリのシルエットを入れることで、コウノトリの舞うふるさと小山と未来へ躍進する小山市を表現しています。

市制70周年を表す「70」のデザインは、小山市がこれまで歩んできた70年と、キャッチコピー「小さな自慢が、山ほどあります。」のロゴを融合させることで、70年の歴史とそこから生まれた資産や資源を生かした現在の姿を表しています。

記者会見資料

総務部 危機管理課
(担当 石橋 22-9845)

1 件名

令和5年度弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について

2 趣旨

弾道ミサイルが発射された際の行動に関する理解を深め、適切な避難誘導、避難行動を図るため、国・県からのアドバイスを受け、県内初となる「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」を実施します。

3 日時・場所

(1) 日時 令和6年1月22日(月) 9:00~11:00

(2) 場所 城山・サクラ・コモン(城山町3-7-5) 1・2階
及びその周囲

※事前説明、講評及び講話は、2階のおやま〜る(小山市市民交流センター)研修室1・2が会場になります。

4 参加者(予定)

(1) 避難誘導 上町自主防災会及び上町自治会の役員等
小山警察署小山駅前交番の警察官

(2) 避難者 城山さくら保育園の先生、園児 上町自治会員
おやま〜る(小山市市民活動センター)関係者 一般見学者

5 訓練概要

(1) 想定

某国から発射された弾道ミサイルが、小山市に飛来する可能性があることが判明したことに伴うJアラートによる警報を受け、住民が近くの頑丈な建物に避難し、被害軽減を図る一連の流れ及び動作の訓練を実施します。

また、危機管理課執務室の職員は、弾道ミサイル飛来時における情報収集及び住民等への周知方法について確認を行います。

(2) 避難訓練詳細

① 9:50、弾道ミサイル飛来の可能性が判明したことに伴い、市役所屋上に設置されているスピーカー(及び訓練用携帯スピーカー)からJアラートによる警報が鳴動。

② この鳴動を受け、上町自主防災会を中心に付近住民(訓練参加者)に頑丈な建物(城山・サクラ・コモン)内への避難誘導を実施する。

③ 建物内避難後は、弾道ミサイル着弾時の被害軽減のため、避難者に対して、窓から離れ、頭を覆い低い姿勢で待機するよう継続して指導する。

④ 10:00、ミサイル通過のJアラート放送で訓練終了。

※別紙資料あり

1 当日のスケジュール

時間	内容	場所
9:00 ~ 9:30	避難訓練に関する事前説明 (参加者向け)	城山・サクラ・コモン 2階 おやま〜る (小山市市民活動センター) 研修室1・2
9:30 ~ 9:50	訓練待機場所に移動・待機	訓練区域内任意の場所に移動し、訓練開始まで待機
9:50 ~ 10:00	避難訓練 (Jアラート鳴動)	城山・サクラ・コモン 1階・2階 (避難・ミサイル通過まで頭を覆い低い姿勢を継続)
10:10 ~ 10:30	訓練講評 (小山市長等)	城山・サクラ・コモン 2階 おやま〜る (小山市市民活動センター) 研修室1・2
10:30 ~ 11:00	弾道ミサイル避難に関する 講話 (自治会向け)	城山・サクラ・コモン 2階 おやま〜る (小山市市民活動センター) 研修室1・2

2 国民保護ポータルサイトリーフレット



爆風

破片

弾道ミサイルが着弾した場合、
激しい爆風や破片などにより、
身体へ大きな被害を受ける可能性があります。

爆風や破片などから身を守るため、
状況に応じた避難行動をとることが大切です!

屋外にいる場合
【爆風や破片などを避ける】



近くの建物の中(できれば頑丈な建物)
または **地下へ**

もしも、近くに建物がない場合は



物陰に身を隠す
または
地面に伏せ
頭部を守る

屋内にいる場合
【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】



窓から離れる
または **窓がない部屋へ**

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、
Jアラートを通じて**緊急情報**を流します。

① 屋外スピーカーなどから国民保護サイレンとメッセージが流れます。
② 携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールなどが届きます。

記者会見資料

理財部 公共施設整備課
(担当 関口 22-9349)

1 件名

令和8年度開設予定の間々田地区新設保育所について

2 趣旨

老朽化と耐震性の不足が懸念されている間々田北保育所と網戸保育所を統合した新たな公立保育所の整備を進めていく間々田地区新設保育所整備事業につきましては、本年8月より設計者選定プロポーザル手続きを進めてまいりました。

11月10日(金)に開催された審査委員会で最優秀提案者が特定されましたので、その提案内容等について公表するものです。

3 内容

- (1) 最優秀提案者 シオダ+DOG設計共同体(宇都宮市+東京都)
代表企業 株式会社シオダ建築デザイン事務所
- (2) 審査委員からの主な講評
 - ① 子どもの生活と遊びを理解し、動と静の両側面を引き受けられる空間構成となっている
 - ② 地域のシンボル(間々田のじゃがまいた)をモチーフにしたデザインや地元で生産される自然素材(よしず)を採用するなど間々田地区の保育所として地域から親しまれる工夫がされている
 - ③ 太陽光発電や蓄電池などの創エネ・畜エネ設備が採用され、ZEB Ready(一次エネルギー消費量の50%削減達成)という具体的な環境計画が提案されている

4 今後のスケジュール

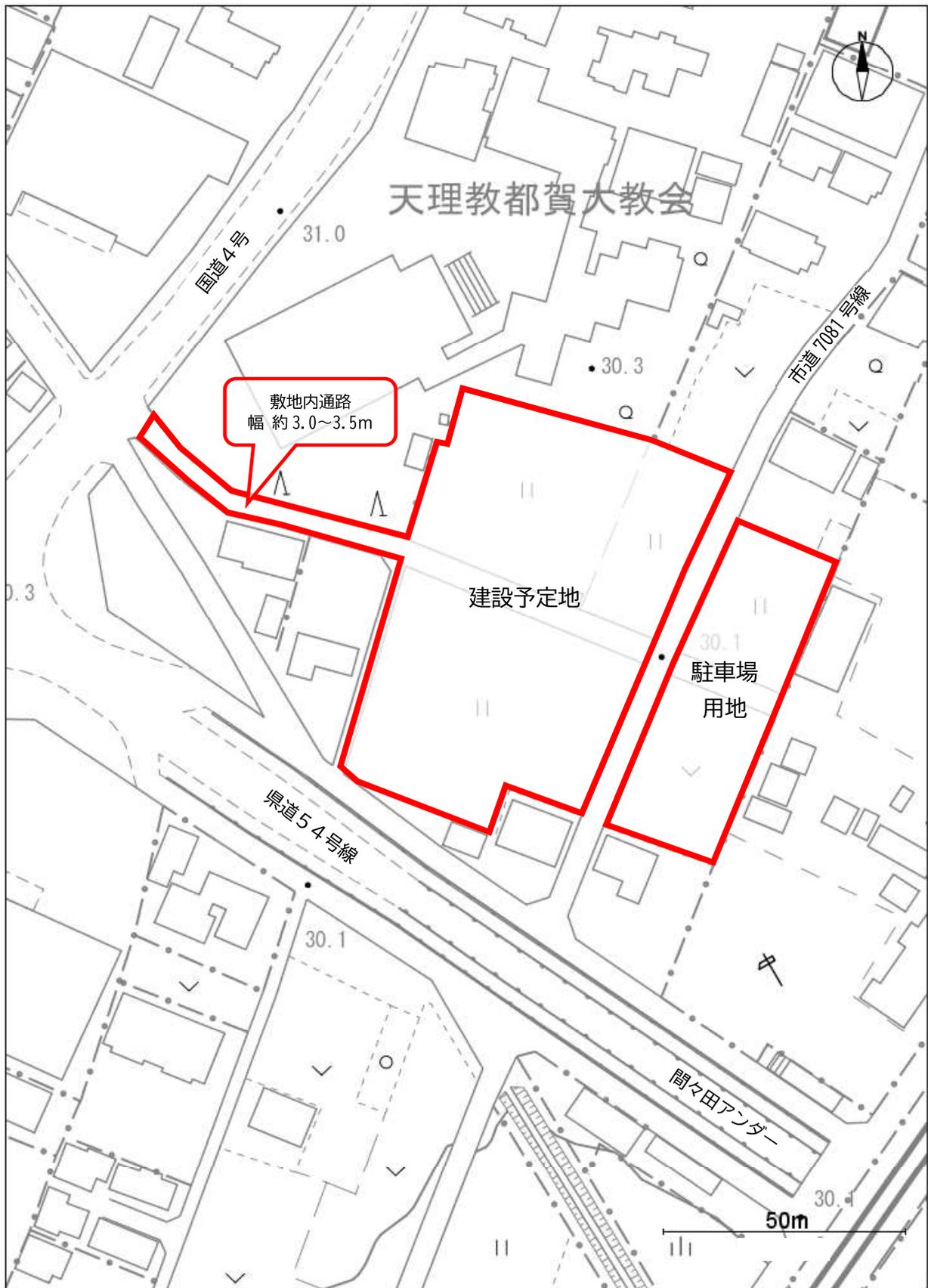
令和5年度 基本設計着手
令和6年度 実施設計完了、用地取得、工事着工
令和7年度 工事完了、外構工事、什器備品調達、引越
令和8年度 新保育所開所

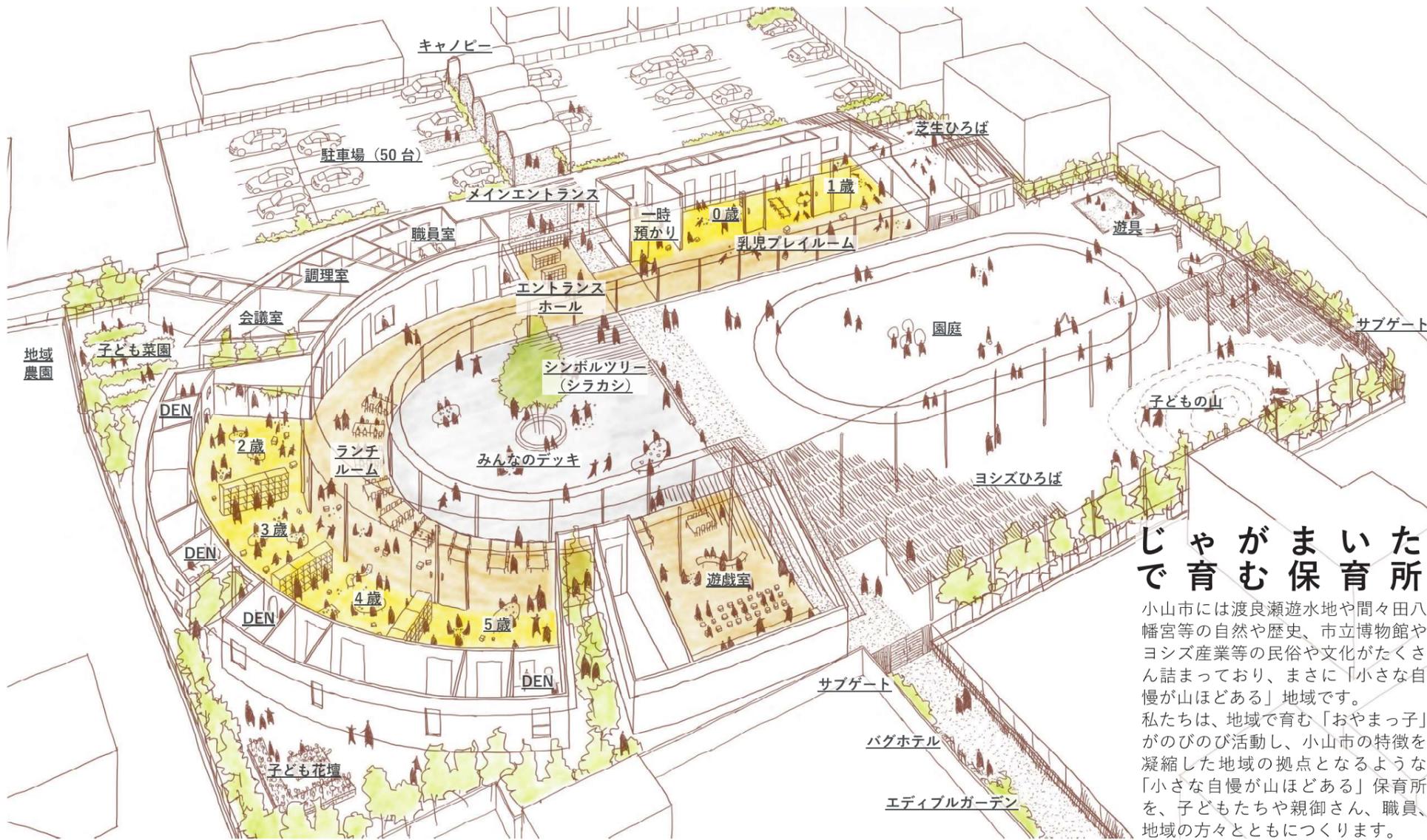
※別紙資料あり

位置図



敷地図





じゃがまいた で育む保育所

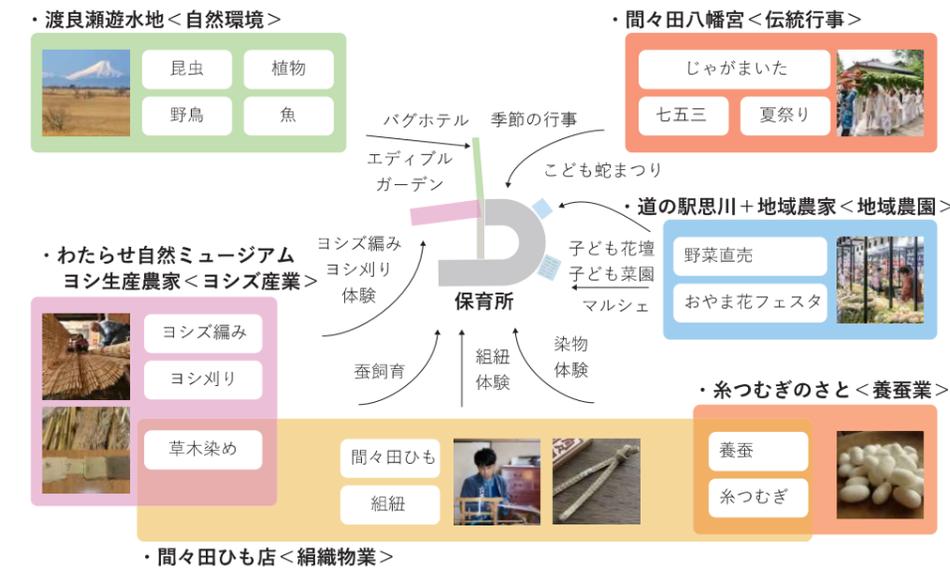
小山市には渡良瀬遊水地や間々田八幡宮等の自然や歴史、市立博物館やヨシズ産業等の民俗や文化がたくさん詰まっており、まさに「小さな自慢が山ほどある」地域です。私たちは、地域で育む「おやまっ子」がのびのび活動し、小山市の特徴を凝縮した地域の拠点となるような「小さな自慢が山ほどある」保育所を、子どもたちや親御さん、職員、地域の方々とともにつくります。

凡例 ①子どもたちが生活する場としてふさわしく、安心して快適な空間 ②地域に開かれた子育て支援施設 ③保育士等職員が働きやすい環境整備 ④地球環境への配慮 ⑤実施手順及び工程計画（設計プロセス）

■地域で育み、地域でつくる、みんなの保育所

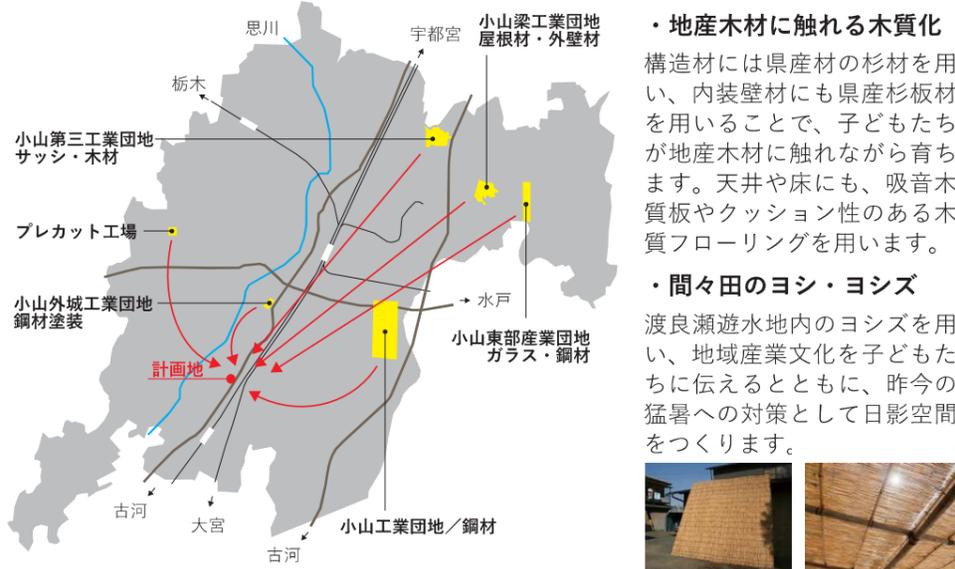
□地域で育み、地域を取り込む地域包括的な保育所①②④

小山市には、間々田のじゃがまいたや渡良瀬遊水地を始めとする、歴史・文化・民俗・自然・産業他、様々な地域的特徴があり、地元を自慢できる「おやまっ子」を育む保育所とは、そのような地域の特徴と密接に連携し、地域全体で子どもを育てる保育所であると考えます。また地域の活動やイベントを受け入れる開かれた保育所とすることで、子どもたちだけでなく、地域の老若男女が集い、多世代かつインクルーシブな地域交流が生まれる、「多世代地域交流センター」のような保育所を目指します。



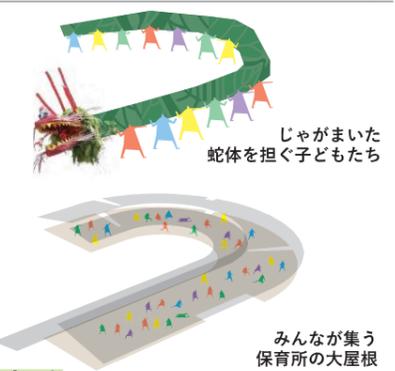
□地域でつくり、地域の文化・産業を受け継ぐ「身土不二」の保育所①②④

小山市の工業・産業地と連携する等、最大限かつ適正に小山市内で保育所の建築材料を調達し、骨組みとなる木材は県産材の杉を用いたり（製材は小山市で）、地域のヨシ文化を活かした「ヨシズ」による園庭の日影ひろばをつくる等、おやまっ子を育む保育所は小山の地の物でつくる「身土不二」の考えを展開します。こうした Made in Oyama の保育所は、地域の方々や子どもたちにとって愛着深く、卒園しても地元から離れても、いつでも原風景に立ち返れる「心の拠り所となる保育所」となります。



■「間々田のじゃがまいた」の蛇づくり①②

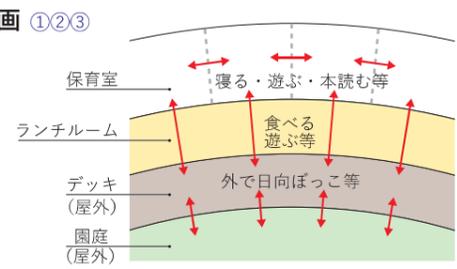
間々田の地元で受け継がれてきた重要無形民俗文化財である「間々田のじゃがまいた」は、地域の子どもたちが中心になって担ぐ文化があることから、新しい間々田の保育所に適したモチーフであると考えます。緩やかな曲線を描く保育所を龍頭蛇体の巨大な蛇に見立て、その中を子どもたちが走り回ったり本を読んだり、お昼寝をしたりごはんを食べたり。そうした活動とともに、子どもたちの「ジャガマイタ、ジャガマイタ」という元気な声が聞こえてくるような保育所です。



■子どもたちの原風景を紡ぐ「多様性」の保育所

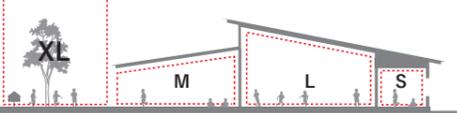
□自由に使いこなせる選択性のある平面計画①②③

保育室は横並びとして年齢毎の保育に加え、異年齢間の遊びを積極的に採り入れます。またランチルームが、保育室とみんなのデッキの間に位置し、ランチを食べたり遊んだり、外の延長になったり、子どもたちの自由な活動の受け皿となります。さらにみんなのデッキは園庭と室内との中間領域的役目を果たし、子どもたちが考えて使う場所となります。



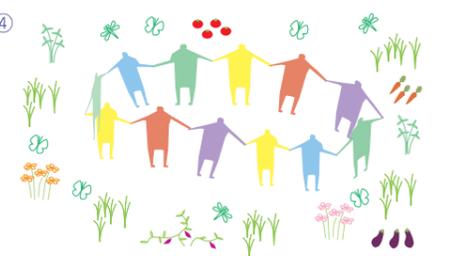
□S,M,L,XLの断面計画①

子どもは遊びの天才とされているように、様々な空間を知覚します。保育所の中にもそれぞれ高い低いがあることで、考えながら空間を使いこなし、自発性を育みます。



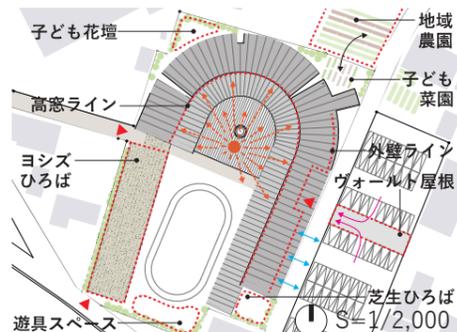
□インクルーシブで生物多様な保育所①②④

現代は多様性の時代です。様々な問題を抱えた子どもや、障がい児、医療的ケア児を受け入れるための設備と空間を設けるとともに、この場所で育つ全ての子どもたちが、虫や花や野菜等と一緒に暮らすことで、生物と一緒に生きる、愛でる、収穫するといった体験を通して、多様性を学ぶ保育所とします。



■子ども、大人、地域のための配置計画①②③

蛇が体をくねらせたような配置計画とすることで、みんなのデッキが光溜まりとなり、ランチルームや保育室へ南側から太陽光を採り入れるとともに、東側道路の車の往来から園庭を守ります。そして駐車場中央には屋根を設け、雨天の園児送り迎えや、地域のイベント時に役立つ場となります。また地域農園と子ども菜園を近接させる等、周辺環境との関係性を理解した外部余白の残し方とします。さらに建物外周の軒先は平屋住宅程度の高さとし、周辺に配慮した計画としています。

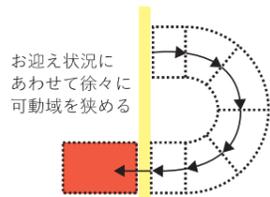


蛇がくねったような伸びやかな全体配置計画

■様々な運用方法による最適化 ③④

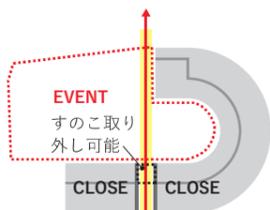
□平日夕方以降

夕方以降、子どもの人数が減った際には使用するゾーンを限定することで、保育士の目が届き易く、管理人員の削減が図れます。また空調や電気設備も使用ゾーンのみの運用とすることで、ランニングコストも低減します。



□休日（イベント時）

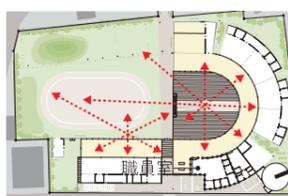
メインエントランスと西側通路はキャノピーを介して通り抜けができ、保育室やランチルームは間仕切りでクローズすることで、園庭とみんなのデッキが地域とつながり、様々な地域イベントに利用できます。またクローズする箇所を変えることで、適宜室内も利用できます。



■子どもも大人もみんなが使いやすい計画 ①②③

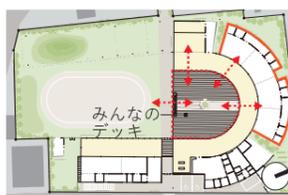
□見通しが良く保育しやすい環境

全体が湾曲した平面によって見通しがよく、保育士がどこにいても全ての場所が把握でき、また職員室を中心に配置し、子どもたちが自由に遊びながらも保育しやすい環境としています。



□内と外がつながるみんなのデッキ

天気の良い日はランチルームをみんなのデッキに延長して外でランチをしたり、サッシを開け放つことで、保育室や遊戯室を外と一体的に自由に駆け回れる大きなスペースにもなります。



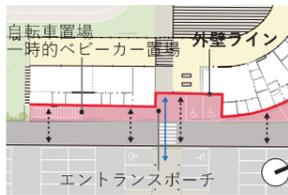
□短い動線で保育可能

動線も兼ねたランチルームが描く曲線の外側に保育室や職員室等が取り付くことで、短い動線で効率的に保育や会議等、様々な管理運営が可能になります。時にはショートカットも可能です。



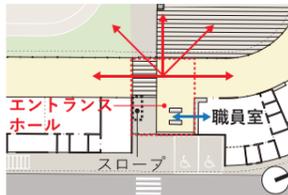
□朝混雑を緩和する奥行あるポーチ

子どもの送迎、特に朝は混雑します。そのため東側のエントランスポーチや駐輪場、一時的なベビーカー置場の奥行や間口を確保し、混雑を緩和しながら道路側への圧迫感を軽減します。



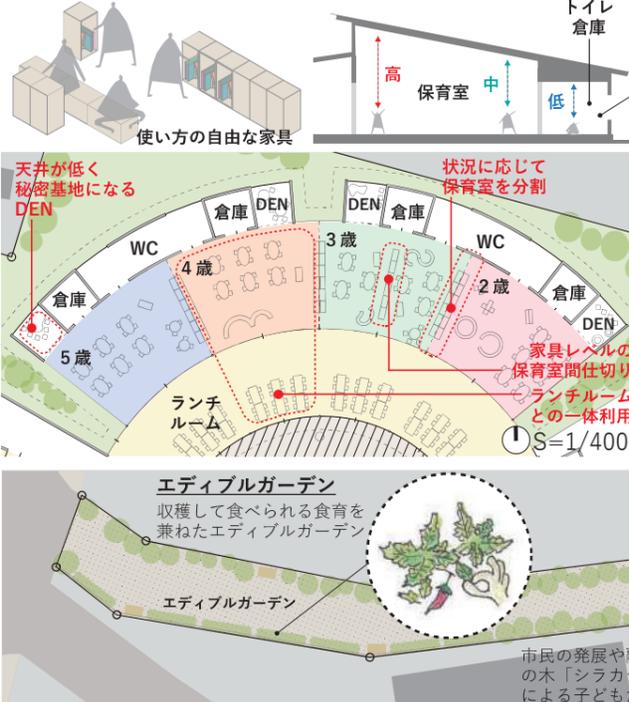
□広くバリアフリーなエントランス

エントランスホールを広く設けることで、見晴らしが良く、子どもたちの元気な姿を見ながら朝夕の園児送迎をスムーズにします。またスロープを設け、バリアフリーに対応しています。



■子ども家具や倉庫、DENが充実した保育室 ①③

子どもでも扱える様々な家具や、保育室を仕切る移動家具によって、子どもたちの机や椅子になったりおもちゃを収納したり、適切にクラス分けを行ったり絵本の本棚になったり、子どもたちの活動を柔軟に受け止めます。また天井の低い外壁側にトイレや倉庫といったバックスペースを適切に設け、また子どもたちの秘密基地となるようなDENを設けることで多様な居場所をつくれます。



子ども花壇 子どもたちがみんなで朝顔やパンジー等を育てる教育の花壇



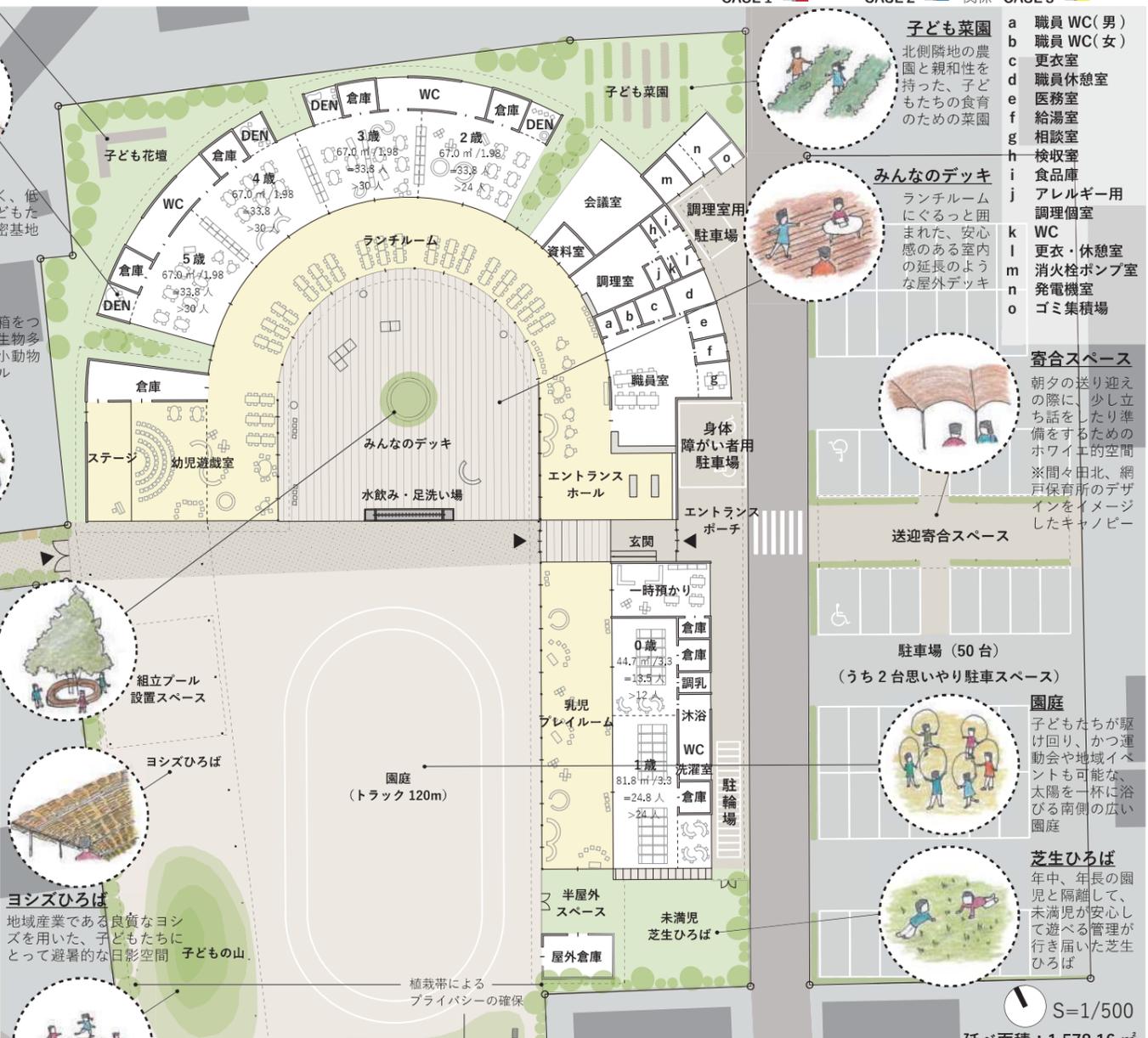
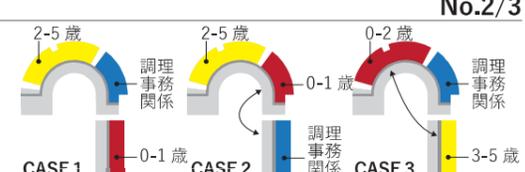
DEN 広い場所だけでなく、低く小さく狭く、子どもたちの遊びを育む秘密基地のようなDEN



バグホテル 枯枝を並べたり巣箱をつくったり、地域の生物多様性を学ぶ、虫や小動物が集まるバグホテル

■様々な意見を取り入れられる柔軟な平面構成 ③⑤

ランチルームや乳児プレイルームを移動空間として、保育室や職員室等の諸室が取り付く平面構成とすることで、職員や利用者の方々と打合せやワークショップを通じて、実情に応じた諸室配置の変更が容易に可能となります。

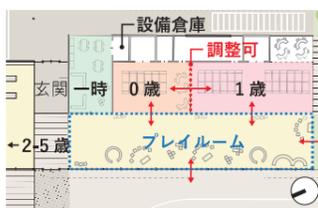


子どもたちが自ら選び、遊びを見出す多様な「そと」① 子どもたちが自ら場所を選び、日によって遊び方が変わるような、画一的ではない様々な外の居場所をつくれます。今日はこっちのお庭で遊ぼう、お花に水をあげよう、ひなたぼっこしよう等、子どもたちの関連な遊びを受け止めます。

■多様な使われ方の保育室

□0~1歳児保育室 ①②③

0~1歳の保育室は、2~5歳とエントランスホールを挟んで離れた位置とし、落ち着いた環境をつくれます。また保育室前の広い乳児プレイルームを確保し、一時預かりや医療的ケア児も受け入れられる設備のある懐の深い場所となります。



□2~5歳児保育室 ①②③

2~5歳の保育室を横並びとすることで、その時の園児数に応じて、部屋の仕切りを調節して広さを変えられるフレキシブルな保育室となり、フラットな観点から障がい児も一緒に保育を行います。また災害時やイベント時は仕切りとなる移動家具を取り払い、全ての部屋をつなげたり、ランチルームやみんなのデッキへと拡張することで、一時的な避難所として利用したり、講演会が行えるような広いスペースとなります。



ランチルームと一体的につながる保育室



みんなのデッキと連続した明るいランチルーム



見晴らしが良く、明るく広いエントランスホール

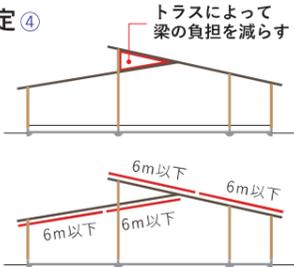


様々な外とつながるランチルームと遊戯室

■子どもたちがのびのび育ち、地域循環やSDGsに寄与する木造平屋の構造計画

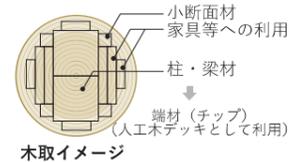
□施設解体までを見据えた適切な構造形式の選定④

部材の最大長を6m程度とし、運びやすく組み立てやすく、人員を削減してコストを抑えるとともに、施工時のCO2排出量も減らします。さらに解体しやすく、再利用しやすいことで、解体後は部材を他施設や住宅に転用したり、家具や什器に加工します。また木造平屋として建物を軽くすることで、杭や地盤改良をなくしてコストを抑えるとともに、敷地を再利用しやすくします。



□無駄のない木材利用④

心材を柱や梁に用いるのはもちろん、小断面部材は間柱や垂木、筋交い、家具等に用いて、一本の丸太を余すことなく使います。また端材をチップ化して固めることで、木デッキ材に用います。



■パッシブ、アクティブ両方をバランス良く融合した設備計画

□ZEB Readyを達成する気候風土を活かしたエコな保育所④

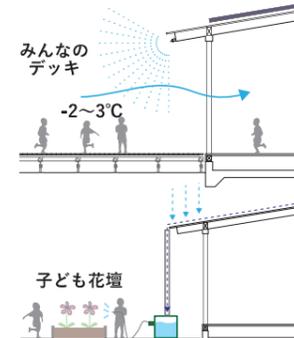
様々な環境技術、自然エネルギーの活用により、従来の保育所に比べて一次エネルギー消費量を50%削減し、ZEB Readyを達成します。

□太陽光発電によるランニングコストの削減と見える化①④

30kwの太陽光発電を南側屋根面に設置し、年間30万円程度の電気代を節約します。また発電状況を見える化することで、子どもたちの教育に用います。

□ドライミストによる微気候の調整④

ドライミストをみんなのデッキの軒下に設けることで、周辺温度より2~3℃下がり、猛暑を緩和して過ごしやすい場所をつくります。また涼しいみんなのデッキを通して風通しをとることで、空調負荷を抑えてランニングコストを低減します。



□教材としての雨水貯留タンク①④

屋根に降った雨を雨水貯留タンクにため、見える化して散水等に用いることでランニングコストを低減するとともに、子どもの教育用にも用います。

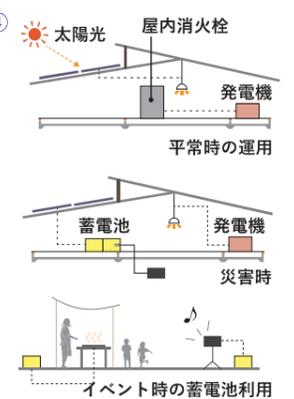
■ZEB Readyにレジリエンス機能を加えた無駄のないBCP対応と防災計画

□ポータブル蓄電池による災害時への対応①③④

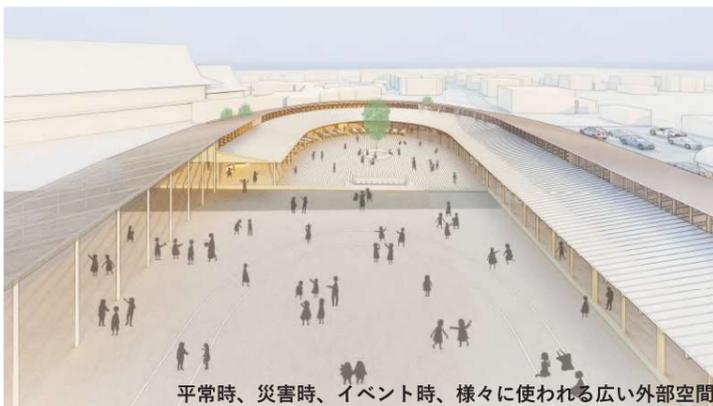
太陽光発電で発電した電気を「ポータブル蓄電池」に蓄電し、発電機とともに災害時に用います。またポータブル蓄電池は平常時にも、例えば園庭で電源を使う際などに用いることができます。

□バックアップ電源①③④

屋内消火栓のポンプを動かすための発電機は災害時にも利用でき、バックアップ電源として用います。これにより避難場所として利用できる遊戯室や事務室等で照明・コンセント・一部冷暖房も利用できる状態を確保し、ポータブル蓄電池と合わせて48時間継続運用できる計画とします。



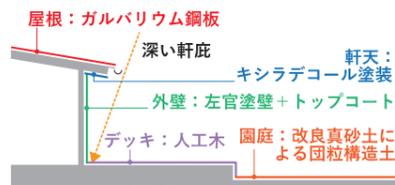
緩やかに囲まれながら開放感のある、ドライミストで涼しいみんなのデッキ



平常時、災害時、イベント時、様々な使われる広い外部空間

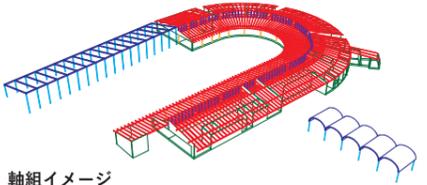
■高いメンテナンス性で覆う④

外壁や屋根、軒裏には高耐久性、耐候性の素材を用い、深い軒によって雨や直射光による外壁劣化を防ぎます。またデッキは人工木を用いてメンテナンスフリーとし、園庭は真砂土を改良した団粒構造土により、保水性・透水性・水はけを良くします。こうして全体を高いメンテナンス性で覆い、維持管理を容易にします。



□子どもたちの原風景をつくり出す合理的な2枚屋根の放射状架構①④

内側と外側の大屋根が支え合い安心感のある合理的な構造としながら、子どもたちの心の原風景に残るような美しい放射状架構を組みます。ランチルームは放射状木梁を表し、子どもたちが建物から学ぶ木の教材にもなります。

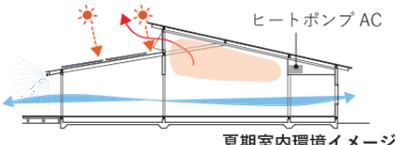


□季節毎に機能するパッシブな断面計画④

2枚屋根の形状を活かし、深い軒による日射取得の制御に加え、高窓による採光や自然通風等、季節毎に機能するパッシブデザインとします。

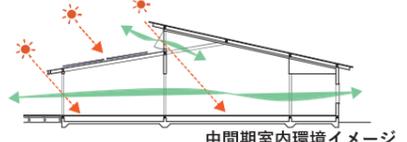
・夏期

ヒートポンプACにより居住域を空調し、上部の熱溜まりは高窓から排熱します。またドライミストや庇により空調負荷を下げます。



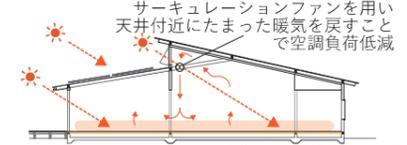
・中間期

空調は用いず自然光と自然通風を取り入れ、高低差を利用した重力換気により快適な室内環境を実現し、設備機器に頼らない自然の保育所とします。



・冬期

南側開口部と高窓から自然光を取り込みます。またACに加え、補助暖房には床暖房を採用し、天井ファンを用いて居住域を効率的に温めます。

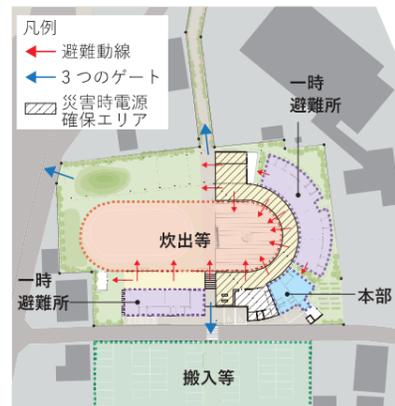


□明快な避難動線①②

みんなのデッキや園庭にどこからでも出られることで、一度みんなのデッキに集まる等、災害時の段階的な避難が容易です。また敷地外に避難する際も、3つのゲートを設けて緊急避難に対応します。

□災害時の心の拠り所として①②

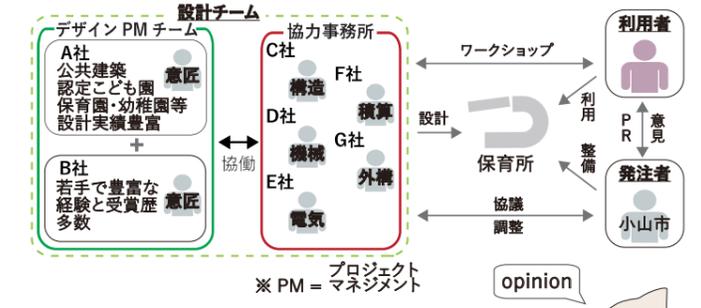
広くつながる保育室やランチルームは災害時の一時的な避難所になります。また炊出や仮設トイレ等を園庭で展開しながら、子どもたちの不安を解消する普段の保育所は、地域の心の拠り所となります。



■高い品質を確保しながらも、地域とともにつくる設計体制とプロセス

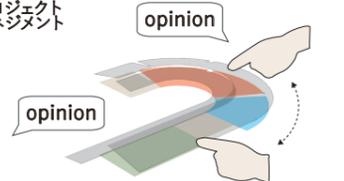
□多様なエキスパートによるチーム体制による適切な設計プロセスの実行⑤

公共建築や認定こども園・保育園・幼稚園建築設計の実績が豊富な地元設計事務所と、豊富な経験と技術力を持つ受賞歴多数の若手建築事務所がデザインPMチームを組みます。また確かな技術力と豊富な公共建築や保育園設計の実績がある様々な専門的な協力事務所がバックアップする体制とし、小山市や利用者タイムリーに協議やワークショップができる体制を常に整え、新しい保育所の確実な品質を確保します。



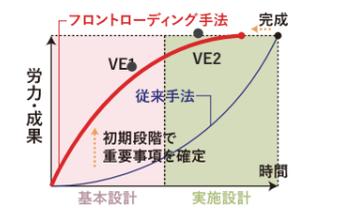
□「みんなでつくる」を意識した地域性のある取り組み方②⑤

小山の自然や伝統など地域にある様々な資源を取り込みながら、「地域で育み、地域でつくる」を意識した本計画では、設計ワークショップのみならず、ヨシ刈り・ヨシ灯り・家具・外構ワークショップ等を通して、関わる人の手による「みんなの」保育所、地域拠点とします。



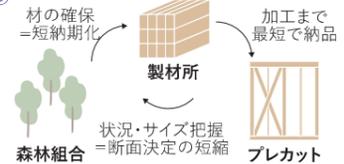
□フロントローディングと適切なVE提案⑤

計画初期に課題抽出を徹底して行い、基本設計でなるべく多くの重要事項を反映させることで、手戻りのない業務に努めます。それにより従来手法に比べて設計期間を短縮し、正確性を増します。また昨今多発している入札不調を起ささないためにも、適切な時期にVE提案を行います。



□材料提供側（森林組合等）との早期連携による短工期化や品質の向上②⑤

材料提供側と早期に連携することで、木材の流通状況や部材の適切な使用方法といった情報を共有し、地域性を加味した構造設計を行うとともに、材料の安定供給を目的とした調達支援にも努めます。こうした連携が、納期を早めたりプレカット精度を高める等、工程管理や品質の向上にもつながります。



□みんなでつくる／無駄のない工程計画⑤

Project Gantt chart showing timelines for Design, Construction, and other phases from 2023 to 2026, including milestones like '基本設計', '実施設計', and '工事監理'.



緩やかに囲まれながら開放感のある、ドライミストで涼しいみんなのデッキ



平常時、災害時、イベント時、様々な使われる広い外部空間



園児送迎がスムーズに行える広いスペースと深い軒のエントランスポーチ



ヨシひろばと子どもの山の日影空間

記者会見資料

産業観光部 商業観光課
(担当 江田 22-9271)

1 件 名

令和6年新年賀詞交歓会の開催について

2 趣 旨

小山市、小山商工会議所及び小山市おもいがわ商工会で組織する小山市・商工会議所・商工会協議会において、本市の産業の発展に深く関わる経済界人および官公庁の役職者が一堂に会し、新年の挨拶を交わすとともに親睦を図る機会を提供し、本市産業の振興と発展に寄与することを目的に開催するものです。

3 主 催

小山市・商工会議所・商工会協議会（事務局：小山市商業観光課）

4 日 時

令和6年1月4日（木）17：00から

5 会 場

小山グランドホテル

6 対象者

市内の産業関係者および官公庁関係者等

記者会見資料

都市整備部 まちづくり推進課
(担当 関 22-9336)

1 件名

PLAN OYAMA 推進組織 (P.O.P.) との連携協定の締結について

2 趣旨

小山駅周辺地区は、JR小山駅を中心に、市の顔として発展してきました。しかし近年では、商業ビルの空洞化や、駐車場・空き店舗が散見される等、かつての賑わいが失われている状況です。

このような状況を改善するためには、行政と民間が地区の将来ビジョンを共有し、連携してまちづくりに取り組んでいくことが重要であると考え、令和3年度から小山駅周辺地区の将来ビジョンの作成に着手しました。

このビジョンはいわゆる行政計画ではなく、市民の想いや意見をアンケートやワークショップ、特設サイト、イベントなどで集めたものに基づいて、小山駅周辺地区で事業を営むまちのキーパーソンたちが中心となって考え、将来ビジョンを「PLAN OYAMA (プランオヤマ)」として取りまとめたものです。

令和5年5月に取りまとめられた「PLAN OYAMA」を推進するため、キーパーソン5名により、「PLAN OYAMA プラットフォーム」(P.O.P.「ポップ」)が11月に設立されました。

今後、小山市とP.O.P.は密接な連携のもと、双方が長期にわたり継続して「PLAN OYAMA」を推進し、小山駅周辺の持続的な発展させることを目的とした連携協定を締結するものです。

3 連携協定式の概要

(1) 日時 12月19日(火) 11:30~12:00

(2) 会場 小山市役所6階 市長公室

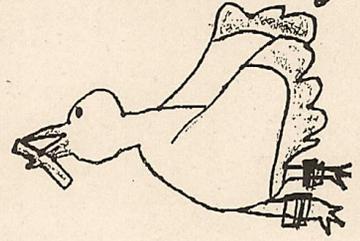
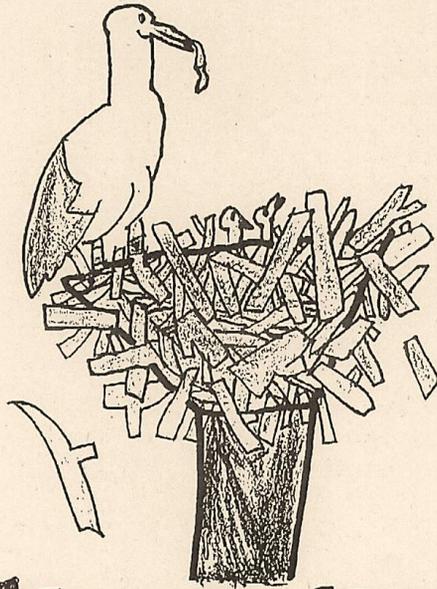
協定式のほか、記念撮影、意見交換を予定しています。

4 問合せ先

まちづくり推進課 まちなか再生推進係

電話 0285-22-9357

みんな
みん
コウ
ノ
で
トリ
になろう



コウノトリ巣作り体験

日時

12月21日 木

9:10~11:50

雨天順延

場所

下生井小学校 校庭

持ち物

● 軍手 ● よごれてもよい服で来てください

協力

NPO法人 わたらせ未来基金
渡良瀬遊水地エコツアーリズムガイド協会



小山児童合唱団 ニューイヤール・ロビーコンサート 2024

小山市制70周年

♪ 演奏曲目

- ☆≡ 1月1日
- ☆≡ 小山わがまち
- ☆≡ となりのトトロ
- ☆≡ たのしいね
- ☆≡ にじ
- ☆≡ 船で行こう！
- ☆≡ 若い麦の穂（団歌）

指揮 荒井 弘高
ピアノ 渡邊 聖子

♪ 開催日時

令和6年1月4日(木) 12時20分～

♪ 場所

市役所本庁舎1階多目的スペース

2024年3月20日(水)

小山市立文化センター 大ホールにて

創立54周年を迎えた小山児童合唱団による定期演奏会が行われます。
小学校1年生から6年生の児童、中学生以上の研究科あわせて約40名が
練習に励んでいます。

是非、定期演奏会にもお越しください。

団長 藤尾 裕 児童団長 高瀬 百葉